

運営委員長挨拶

東京言語研究所は1966年3月、故服部二郎博士（東京大学教授、当時）の構想をもとに開設されました。服部博士は当時、日本の大学のシステムの制約上、ほとんど満足のいく教育体制が存在しないことに強い危機を感じられ、大学の枠を超えて、才能ある人々に言語学の重要性と面白さを認識させる「言語学の塾」を創設しようと考えられました。

その目的に沿って、研究誌や月刊誌の刊行、公開講座や国際セミナーの実施など数々の企画が実行されました。その中核に位置づけられていたのが、1966年5月以来、休むことなく毎年開講されてきた理論言語学講座です。それは、第一級の教授陣を配した、体系的なカリキュラムからなる言語科学専門のコースです。1960年代と今日とでは、言語学環境は大きく変わりましたが「言語の理論的研究に裏打ちされた真の言語学基礎教育をおこなう」という講座の目的・理念は今でも変わっておりません。

その一方で、理論言語学講座も21世紀の言語科学が向かう先を見据えて、新しいカリキュラムを構築し、人々の現代的要請に応えようとしております。2016年に研究所が開設50周年という重要な節目を迎えたのを機に、今後の理論言語学講座のあり方についていろいろ検討を重ね、2017年度から理論言語学講座の開講時間と時間割を大幅に変更いたしました。具体的には、毎日2時間（各90分）×11週という時間割から毎日100分の1制限に変更し、また講座を原則として半期制にしました。1日に受講できる授業数は減りましたが、授業開始時間が6時から7時に変わったことに伴い、仕事や大学の授業を終えてからの参加が容易になったのではないかと思います。またこの改革に伴い、理論言語学講座の授業が一部、集中講義として実施されることになりました。

本研究所では、このような形で理論言語学講座の一層の充実を図ると同時に、以下のような多彩な事業を毎年企画しています。

- (i) キックオフである春期講座、
- (ii) ことばと関連した諸分野の第一線で活躍されている講師による公開講座、
- (iii) 理論言語学の専門家を講師に迎える集中講義、
- (iv) 教師のためのことばワークショップ

一人でも多くの方が、言語の本質を問題にする本講座を受講され、ことばについて考えることの楽しさと奥深さを共有していただきたいと思います。多数のご参加をお待ちしております。

東京言語研究所 運営委員長

窪園 晴夫

開講式（新宿TXビル2階 ラボ教育センター会議室）

新規生および継続生（新規受講課目がある方）、その他希望の方



■開講式 5月10日（日） 13:00～14:30

1. ミニ講義「言語研究の面白さ」
（窪菌晴夫／東京言語研究所運営委員長）
2. 理論言語学講座オリエンテーション
3. 理論言語学賞授賞式 等

- ・新規生および継続生（新規受講課目がある方）は参加してください。
- ・受講手続きが完了した継続受講の方、今後受講を検討している方も参加できます。

※今年度のガイダンスは前期と後期を合わせて行います。

面接ガイダンス（新宿TXビル2階 ラボ教育センター会議室）

新規生および継続生（新規受講課目がある方）対象

講師との個別面談をします。当該課目（講師）を初めて受講する方が対象です（必須）。

■開講式と同日 15:45～16:00（予定）

●ガイダンス目的

講師と受講希望者が事前に直接面談することによって、受講の満足度を最大にすることが一番の狙いです。受講希望者にとっては、当該課目が受講希望に合っているかどうかを判断する機会になります。また、受講希望者にとって担当課目が適切であるかどうかを講師が判断することも目的の一つです。

受講課目の決定、受講料の振込み

講師との面談終了後、受講の可否を決定します。最終的に受講を希望する課目を事務局に伝え受講料の金額を確認します。

1週間以内に研究所指定銀行もしくは郵便局の振込み口座（左記）に受講料の振込をお願いします。

※振込みを確認次第、事務局より受講票をお送りします。1週目は受講票がお手元になくても受講可能です。



受講開始

■入学金・受講料（消費税込）

- ・入学金 11,000円（新規生のみ）

受講料（一般）	1課目あたり	
	半期(10回)	通年(20回)
1課目	¥25,000	¥50,000
2課目	¥25,000	¥40,000
3課目	¥20,000	¥40,000
4課目	¥20,000	¥40,000
5課目	¥20,000	¥40,000

受講料（学生）	1課目ごとに	
	半期(10回)	通年(20回)
1課目ごとに	¥12,500	¥25,000

※学生割引希望者は、HP受講申込書所定の欄に必要事項を記入してください。

※学生割引希望者は、受講申込書の所定の欄に必要事項を記入してください。面接ガイダンス当日または講座開講1週目までに、「学生証コピー」を事務局に提出してください。（Eメール可能）期日までに提出されない場合は「学割」を取り消す場合もあります。

大学生及び大学院生の受講料は左記の通りです。通信教育課程や科目等履修生は学割対象外となります。

●受講料は年間で計算します。

半期のみ：3課目以上で割引 通年のみ：2課目以上で割引

例) 半期1＋通年1：¥75,000

半期1＋通年2：¥115,000（通年¥10,000割引）

半期3 ：¥70,000

※春期講座割は年間で1回のみ適応されます。

※その他、講義資料のコピー代（1枚10円）が別途かかります。（講義課目によって異なる）

講座日および教室

■講義回数 月～金曜、前期 10回・後期 10回

■講義時間 19:00 - 20:40 100分 (祝祭日は休講)

	前期	後期
月	5/11,18,25, 6/1,8,15,22,29, 7/6,13	9/28, 10/5,12,19,26 11/2,9,16,30, 12/7
火	5/12,19,26, 6/2,9,16,23,30 7/7,14	9/29, 10/6,13,20,27, 11/10,17,24, 12/1,8
水	5/13,20,27, 6/3,10,17,24, 7/1,8,15	9/30, 10/7,14,21,28, 11/4,11,18,25, 12/2
木	5/14,21,28, 6/4,11,18,25, 7/2,9,16	10/1,8,15,22,29, 11/5,12,19,26, 12/3
金	5/15,22,29, 6/5,12,19,26, 7/3,10,17	10/2,9,16,23,30 11/6,13,20,27, 12/4

理論言語学講座 夏期集中 8月14日(金)～16日(日) 言語哲学入門
8月21日(金)～23日(日) 日本語文法と一般言語理論

※講師等の都合により、休講となる場合があります。その場合は別途補講をします。

■教室

新宿区大久保 1-3-21 新宿TXビル 2F ラボ教育センター内

■休講について

- ・講師のやむを得ぬ事情で休講となる場合は、原則として補講をします。
- ・講義当日に休講が発生した場合は、電話で連絡します。そのため平日昼間の連絡先(携帯電話番号・Eメールアドレス等)を受講申込書に記入してください。
- ・首都圏全域の交通機関の乱れ、天変地異などによってやむを得ず休講する場合があります。この場合は補講は行いません。また、受講料の返金もいたしません。

■レポートの提出について

- ・講義終了後の成績評価のためのレポート提出(任意)を受け付けます。期限は前期講座は8月末、通年講座は翌年1月(課目により異なる)とします。(各講師の指示に従ってください)

その他 講座開講の要件

講座開始の前日(18:00)までに受講生が8人に満たない場合は開講しません。(講座が開講されない場合、当該講座の受講申込み者には連絡します。)

※その際、納入済の受講料はお返しします。

事務局問い合わせ受付時間

月曜日～金曜日 10:00～18:00 ※土曜日、日曜日、祝日は事務局は休みです。

受・講・規・定

- (1) 在籍年限は特に定めない。
- (2) 各年度の受講課目数は原則として制限しない。ただし、授業開始後の受講課目変更は原則として許可しない。
- (3) 1 課目につき、出席回数が講義実施回数の2分の1以上であることを学期末及第とする。
- (4) 学期末の成績評価は、原則として提出されたレポートに基づいておこなう。成績は、A、B、C、Dとし、C以上を及第とする。
- (5) 別途定める基準により、卒業認定された受講者には、本講座の卒業証書を授与する。当該受講生は、以後、随時の講義を担当講師の許可を得て無料で受講することができる。
- (6) 同一課目を2回以上受講した場合には、卒業の際、その最高点をもって当該課目の成績とする。
- (7) 6年連続して出席率が2分の1以上の課目がない場合は除籍する。但し、休学期間は算入しない。
- (8) 休学期間は最長連続6年とする。(休学手続きは、予め事務局に備付けの用紙を用いて行うこと)
- (9) 通年講座で開講後受講回数10回以下で退学することが予め判っている者、ならびに10月以降の受講開始を希望する場合は、担当講師の許可を得て受講を認める。その際の受講料の半額に2000円プラスしたものにす。すなわち、1課目受講につき、(受講料の半額+税)+2000円とする。学生対象者も上記に準じる。
- (10) 当研究所の都合以外の理由で定められた日時までに受講料納入手続きを完了しない場合、および受講手続き終了後の受講課目変更の場合には、特別手数料として1件につき1,000円申し受ける。
- (11) 講座開講後、既納入諸費用は受講講座不成立の場合を除き、原則として返金しない。

・服部四郎賞、理論言語学賞

- (1) 服部四郎賞は学術的に特に優れたと認められる論文(講座のレポート)に対して与えられる。副賞の奨学金は10万円とする。
- (2) 理論言語学賞は講座において成績優秀なものに与えられる。副賞の奨学金は4万円とし、受講者は毎年5人程度をめやすとする。ただし、同一受賞者は課目一分野につき3回までとする。また、半期講座の場合の奨学金は2万円とする。[学生割引対象者]上記の半額とする。

・卒業要件

下の規定を満たした者に本講座の卒業証書を授与する。

規定

- ① 通年講義1課目1年を1単位、半年講義1課目半年を0.5単位として、合計12単位を優秀な成績をもって取得すること。
- ② 上記12単位の中に、別表(p.7参照)に記すI群からV群の科目群について下に示す単位数を含むこと。
 - I群から1単位以上。
 - II群から2単位以上。
 - III群から1単位以上。
 - IV群から1単位以上。
 - V群から3単位以上。

[優秀な成績]の基準および、個々の単位の認定の詳細に関しては運営委員会が決定する。ただし、上記は2012年度以降に入学した者に対して適用するものであり、2011年度以前に入学した者については別途これを定める。なお、卒業者は本講座の講義を、担当講師の許可を得て、無料で聴講することができる。

・証明書発行手数料

在籍証明書、単位取得証明書、卒業証明書各1通につき1,000円。